

多摩平の森  
ルネッサンス計画2

# 3つの新しい暮らしをつなぐ 「たまむすびテラス」



1 ルネッサンス計画2 プロジェクトのひとつ「りえんと多摩平」  
豊かな自然に包まれた多世代が交流する団地型シェアハウス  
天気の良い日はデッキテラスにあるパーゴラの下でみんなでランチ



8月27日に開催された多摩平の森団地自治会主催の「夕涼み会」  
「りえんと多摩平」の入居者(エディター)が企画した  
子供向けワークショップ「手で森をつくろう!」も大成功



2 身近な場所で野菜づくりを楽しめる  
まちなか菜園 ひだまりファーム



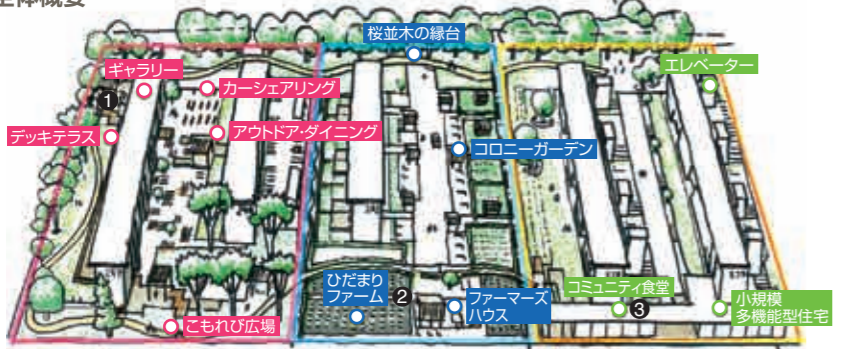
野菜の苗植え体験



3 「ゆいま〜る食堂」にて入居者同士で歓杯



### 全体概要



- 団地型シェアハウス りえんと多摩平 東電不動産株
- 菜園付き集合住宅 AURA243 多摩平の森 たなべ物産株
- 高齢者向け賃貸住宅 多世代住宅 ゆいま〜る多摩平の森 森コミュニティネット



## “とにかく楽しい” シェアハウスでの生活。 大きな家族ができました。

りえんと多摩平エディター 松原 独歩さん

### Interview

僕は建築設計をやっています。今度の震災で、被災地のまちづくりをどうするかを議論し、その結論のひとつが集合住宅でのシェアハウスでした。その生活を体験しようとエディターに応募したのです。最初にやったことは、皆さんを仲良くさせること。キッチンやラウンジの共用だけでなく、物のシェアということでラウンジに「ご自由に」と漫画を置いたら、すぐ反応があってコミュニケーションが生まれました。

パーティーも開催します。住人のパン屋さんが持ち帰ってくれたパンでサンドイッチパーティー、韓国の方にはコリアンレストランを開店してもらい、土曜のお昼にはオリエントカフェなど、随時個性的なテーマで開いています。外部の関心も高く地域外からの参加も増えましたね。

人数の少ないシェアハウスは人間関係がうまくいかないと住みづらいのですが、逆にこれだけ人数が多いと大丈夫ですね。みんな家族っぽくなりましたが、入れ替わりも多いので、新しい方をどう迎えるかをいつも考えています。今度、みんなにお国自慢の飲み物食べ物を持ちよってもらって「はじめましてパーティー」をやる予定です。僕は福井ですのおいしいお酒ですね。

“とにかく楽しい”それが現在のシェアハウス居住者の感想じゃないでしょうか。

れ合うことができ、近隣とのコミュニケーションも深められると期待を集めています。「農」に親しむ暮らしを実践する試みといえそうです。3つめは高齢者専用賃貸住宅「ゆいま〜る多摩平の森(株)コミュニティネット」。まず目につくのが建物の外側につけられたエレベーター、他にも車イスでも出入りがしやすいスライディングドアが設けられた住戸など、すべてバリアフリー対応。専門スタッフが24時間365日常駐する小規模多機能居宅介護など、安心して暮らせる仕組みが整っています。地域の方も気軽に利用できる「ゆいま〜る食堂」では、今日も楽しげな

ま〜る食堂」では、今日も楽しげな会話が聞こえてきます。街区の名称は、世代を超えて人と人、人とまち、周辺地域とのつながりを再構築するという想いを託した『たまむすびテラス』。首都大学東京の学生の提案が採用されました。8月には、多摩平の森団地自治会主催の恒例「夕涼み会」が開かれました。『りえんと多摩平』のメンバーも子供向けの企画で大活躍。お祭りと縁日があわさったような賑わいは多摩平の森のこれからの姿を予感させてくれます。

まずは「りえんと多摩平(東電不動産株)」です。従来の1戸が3つの個室に再構成され、若い社会人や学生向けのシェアハウスとなりました。1階にはみんなで使う広いラウンジ、キッチン、ランドリーやシャワールームがあり、明るい声が響きあっています。2棟のうち1棟は中央大学の留学生が入居する国際棟で、外国語が飛び交っています。目を見張るのは住棟に沿った40mのウッドデッキとパーゴラのあるデ

ッキテラスです。おいしそうな匂いに誘われて近づく、陽射しを浴びながらお隣近所の仲間とのランチで盛り上がっています。今までになかった団地風景です。また車2台が用意されたカーシェアリングもエコの時代を先駆ける試み。入居にあたっては6人のエディターが公募され、生活しながらイベントを企画・実施し、ブログやツイッターで暮らしのイメージが発信されています。次は、菜園付き集合住宅「AURA243多摩平の森(たなべ物産株)」です。ゆとりある空間を生かし、1階部分には52㎡の専用庭、45区画の貸し菜園や9区画の貸し庭(コロニーガーデン)なども設けられ、野菜づくりや花畑、バーベキューなどが楽しめます。専門スタッフの指導のもと、農具・肥料なども提供され、家族みんなが楽しみながら自然と触

多摩平で歴史を刻んだ団地が、3つの新しい暮らしの場としていまに甦りました。昭和33年に入居が始まった多摩平団地は、団地再生事業により多摩平の森として生まれ変わり、緑に囲まれた自然環境豊かな暮らしが育まれています。この多摩平の森で、「ルネッサンス計画2 住棟ルネッサンス事業」が注目を集めています。団地再生事業に伴い空家になった5棟の建物を、民間事業者3者に15〜20年建物賃貸し、各事業者の企画・設計により、「団地型シェアハウス」「菜園付き集合住宅」「高齢者向け賃貸住宅」という3つの新しいコンセプトで改修を行うという試みです。それでは、3つの新しい暮らしを訪ねてみましょう。

